

**高等学校等就学支援金事務処理システム**

**導入手順書**

**BD21318_**

**平成２６年　３月**

**文部科学省**

**目　　次**

[はじめに ２](#_Toc384972790)

[基本操作の流れ ３](#_Toc384972791)

[・高等学校等就学支援金事務処理システムについて ５](#_Toc384972792)

[・導入方法手順 ７](#_Toc384972793)

[１　ファイルコピー ７](#_Toc384972794)

[２　システム確認 ７](#_Toc384972795)

[３　システムを実施する前に必ず以下の作業を行ってください ８](#_Toc384972796)

[４　システム利用方法 ８](#_Toc384972797)

[※「KSS3.exe - .NET Frameworkの初期化エラー」が表示される場合 ９](#_Toc384972798)

[・Microsoft .NET Framework 4の導入 １０](#_Toc384972799)

[Ⅰ）ファイルダウンロード １０](#_Toc384972800)

[Ⅱ）インストール １４](#_Toc384972801)

[Ⅲ）インストール結果の確認 １６](#_Toc384972802)

# はじめに

高等学校等就学支援金事務処理システム（V3）は、平成26年4月以降の入学者が対象となる高等学校等就学支援金制度（新制度）の業務全てを実現するために必要な機能を提供します。

平成26年3月以前から引き続き高等学校等に在学されている方は、公立高等学校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度（現行制度）の適用となりますので、従来通り、高等学校等就学支援金事務処理システム（V1,V2）を利用ください。

・動作環境

本アプリケーションは、以下の環境にて動作いたします。

ＯＳ

* Microsoft Windows XP SP3
* Microsoft Windows Vista SP2
* Microsoft Windows 7 SP1

ソフトウェア

* Microsoft .NET Framework 4
* Adobe Reader

推奨ハードウェア

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 仕様等 |
| CPU | 2 GHz 以上のプロセッサ（2コア以上） |
| メモリ | 3 GB以上（Windows7 64bit版では、6GB以上） |
| ハードディスク | 1.5GB×処理する学校数　以上のディスク空き容量（注）  （バックアップ用の領域は、別途必要となります） |
| ディスプレイ | 解像度が 1024x768 以上のモニタ |

　注：都道府県庁にて、県システムと学校システムを同じパソコンで

使用する場合は、ハードディスクの容量は2倍必要となります。

# 基本操作の流れ

高等学校等就学支援金事務処理システム（以下、就学支援金事務システムと略）の利用開始前の基本操作の流れを下記に示します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒（世帯） | 学校設置者 | 都道府県 | 文科省 |
| １事前作業 | 申請書作成  受給資格認定申請書 | 生徒情報作成  生徒情報CSV | 学校情報等作成  学校情報CSV  設置者情報CSV  都道府県情報CSV |  |
| ２システム導入 |  | 就学支援金  事務システム  就学支援金  事務システム  就学支援金  事務システム  実行環境設定  生徒情報等取込み | 実行環境設定  学校情報等取込み |  |
| ３システム運用 |  | 申請処理 | 審査処理  CSV  ファイル  就学支援金  事務システム  （申請）  就学支援金  事務システム  （審査） |  |

　本導入手順書は、「２．システム導入」における、システムの導入方法について説明したものです。システムの導入後の実行環境設定等に関しましては「管理説明書」を参照ください。

「１．事前作業」に関しては「管理説明書（事前作業編）」、「３．システム運用」に関しては「操作説明書」を参照ください。

＜学校設置者＞

1. 事前作業
   1. 生徒（世帯）に、高等学校等就学支援金受給資格認定申請書（様式）を配布します。
   2. 申請を行う生徒情報を事前に整理し、学校コード単位（※１）で生徒情報CSVを作成します。なお、定額授業料と単位制授業料では、異なる生徒情報CSVとなります。
2. システム導入
   1. 都道府県から受け取った就学支援金事務システムを導入します。
   2. 就学支援金事務システムの実行環境設定を行います。
   3. 実行環境設定後、事前に作成した生徒情報CSV等の取り込みを行います。
3. システム運用
   1. 就学支援金事務システムの画面にて、申請処理を行います。

＜都道府県＞

1. 事前作業
2. 知事名等の都道府県情報を事前に整理し、都道府県情報CSVを作成します。なお、設置者区分（※２）が異なると、都道府県で認定権者や担当部署が異なるため、異なる都道府県情報CSVとなります。
3. 学校設置者に対して設置者コードを設定し、設置者情報CSVを作成します。
4. 各学校に、「学校の種類・課程・学科」単位で学校コード（※１）を設定し、学校情報CSVを作成します。
5. システム導入
6. 文科省から受け取った就学支援金事務システムを導入します。
7. 就学支援金事務システムの実行環境設定を行います。
8. 実行環境設定後、都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVの取り込みを行います。
9. 就学支援金事務システムを学校設置者に配布します。
10. システム運用
11. 就学支援金事務システムの画面にて、審査処理を行います。
12. 審査結果から、各生徒に認定番号（※３）が付番されます。

※１　学校コードは、同一の学校でも「学校の種類・課程・学科」が異なれば、異なる学校コードとなります。

「学校の種類・課程・学科」とは，｢①高等学校（全日制）｣，｢②高等学校（定時制）｣，｢③高等学校（通信制）｣，｢④中等教育学校（後期課程）｣，｢⑤特別支援学校（高等部）｣，「⑥高等専門学校（１～３学年）」，「⑦専修学校（高等課程）昼間学科」，「⑧専修学校（一般課程）昼間学科」，「⑨専修学校（高等課程）夜間等学科」，「⑩専修学校（一般課程）夜間等学科」，｢⑪専修学校（高等課程）通信制学科｣，「⑫専修学校（一般課程）通信制学科」，「⑬各種学校（外国人学校）」，「⑭各種学校（その他）」です。

※２　設置者区分とは、「01：国立」，「02：都道府県立」，「03：市町村立」，「04：私立」です。

※３　受給対象者個人に割り当てられる番号です。各種申請に使用します。

構成：（西暦年度下２ケタ）-（都道府県番号）-（国公私区分）-（学校番号）-（通し番号）

# ・高等学校等就学支援金事務処理システムについて

就学支援金事務処理システムは、特別なインストールは不要で、配布された「KSS3」フォルダを任意の作業フォルダへコピーするだけで利用可能です。

練習用フォルダを作成し、KSS3フォルダをコピーすれば、練習用として利用できます。



複数の学校を

登録可能

複数の学校を処理する場合は、下記の運用を想定しています。

　　　運用方法１：学校単位でKSS3フォルダを作成



　　　運用方法２：複数の学校をまとめてKSS3フォルダを作成



　　　注意事項：一つの端末で、複数のシステムを同時に起動することはできません。

システムを終了後に、次のシステムを起動してください。

また、一つのフォルダを、複数の利用者が同時に利用はできません。

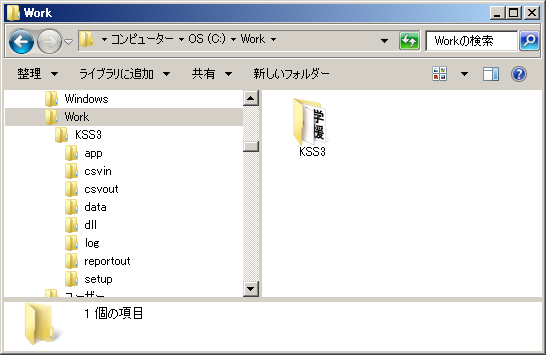


・導入方法手順

１　ファイルコピー

配布された「KSS3」フォルダを任意の作業フォルダへコピーします。

なお、長いフォルダ名や、奥深くのフォルダでは正常に動作しない場合があります。



都道府県のシステムを利用する方は都道府県用の「KSS3」フォルダを、学校設置者のシステムを利用する方は学校設置者用の「KSS3」フォルダを、コピーしてください。システムのアイコンがは学校用、は都道府県用で、システムを起動すると画面に「学校用」「都道府県用」と表示されますので、確認してください。

２　システム確認

　　　コピーしたファイルの確認を行います。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| KSS3\ |  |  | app\ | ： | （設定等格納フォルダ） |
|  |  |
|  |  | **csvin\** | ： | **受け取ったCSVファイルを、システムに取込ませるために格納するフォルダ** |
|  |  |
|  |  | **csvout\** | ： | **提出するCSVファイルを、システムが出力するフォルダ** |
|  |  |
|  |  | data\ | ： | （データベース格納フォルダ） |
|  |  |
|  |  | dll\ | ： | （システムライブラリ格納フォルダ） |
|  |  |
|  |  | log\ | ： | （ログファイル格納フォルダ） |
|  |  |
|  |  | **reportout\** | ： | **帳票ファイルを出力するフォルダ** |
|  |  |
|  |  | **setup\** | ： | **学校情報等を、システムに取込ませるために格納するフォルダ** |
|  |  |
|  |  | **KSS3.exe** | ： | **システム** |
|  |  |
|  |  | KSS3.exe.config | ： | （システムの設定ファイル） |
|  |  |

３　システムを実施する前に必ず以下の作業を行ってください

　　【都道府県のシステムを利用する方】

（１）「管理説明書（事前作業編）都道府県用」に従い、事前に都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVを作成してください。

（２）「管理説明書」に従い、事前に作成した都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVをシステムに取込み、正しくCSVが作成できているか確認してください。

（３）上記設定が終了しましたら、各学校設置者へ学校設置者用の「KSS3」フォルダと、都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVを配布してください。  
なお、上記２でシステム確認した都道府県用の「KSS3」フォルダを各学校設置者に配布しないでください。都道府県用の「KSS3」フォルダでは学校設置者用の画面は表示されません。

　　【学校設置者のシステムを利用する方】

（１）都道府県より配布されたシステムにて、上記１及び２の手順を行ってください。

（２）「管理説明書」に従い、学校情報の詳細情報を登録してください。

４　システム利用方法

「操作説明書」に従い、システムをご使用ください。

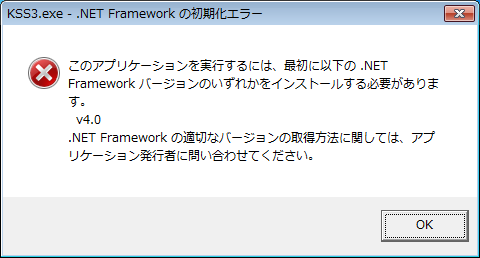
# **※「KSS3.exe - .NET Frameworkの初期化エラー」が表示される場合**

就学支援金事務システムは、「Microsoft .NET Framework 4」が必要であります。

KSS3.exeを起動した時に、下記のエラーが表示された場合、Microsoft .NET Framework 4を導入してください。







なお、OSや環境の違いにより、上記のようにメッセージ画面に違いがあります。

## ・Microsoft .NET Framework 4の導入

就学支援金事務システムが正常に起動する場合は、Microsoft .NET Frameworkが導入済みですので、下記の作業は行わないでください。

特に、.NET Framework 4.5が導入済みの場合や、コントロールパネルの「プログラムと機能」で「.NET Framework 4」が表示されない場合でも、就学支援金事務システムが正常に起動する場合は、下記の作業は行わないでください。

### Ⅰ）ファイルダウンロード

Microsoftダウンロードセンターへアクセスし、該当ファイルをダウンロードします。

URL

http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=24872

①Webブラウザにて、“Microsoftダウンロードセンター”が画面表示されます。

「詳細」「システム要件」等を確認し、「ダウンロード」ボタンをクリックし、ダウンロードを開始します。

※このとき必要に応じて、「言語を選んでください」にて、使用言語を選択します。

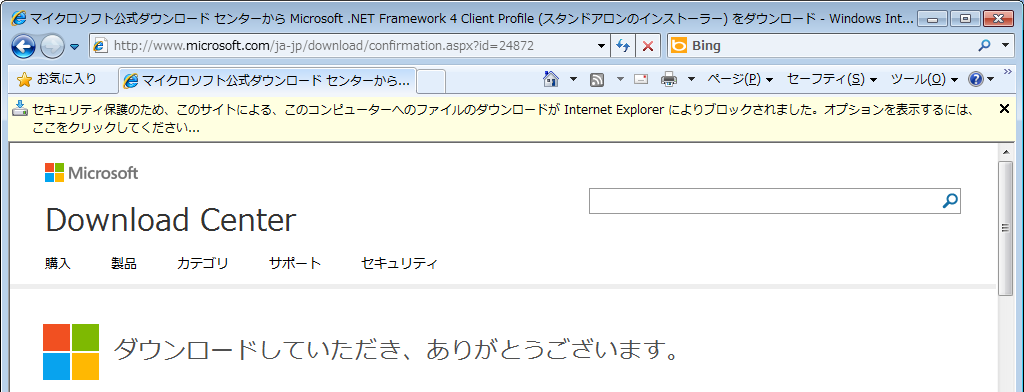


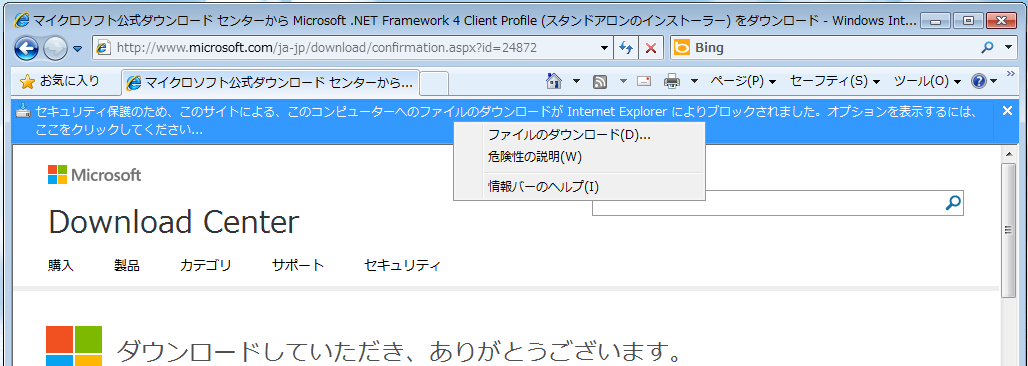
②「ダウンロード」ボタンをクリックしても、ダウンロードが開始しない場合

　　「セキュリティ保護のため、このサイトによる……」が表示されていた場合は、

　　「セキュリティ保護のため、このサイトによる……」の表示をクリックし、

　　「ファイルのダウンロード(D)」を選択してください。

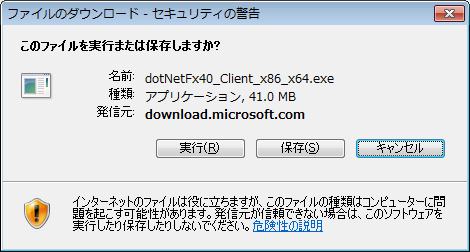




　 もしくは、「30 秒経ってもダウンロードが開始されない場合は、こちらをクリック」をクリックしてください。

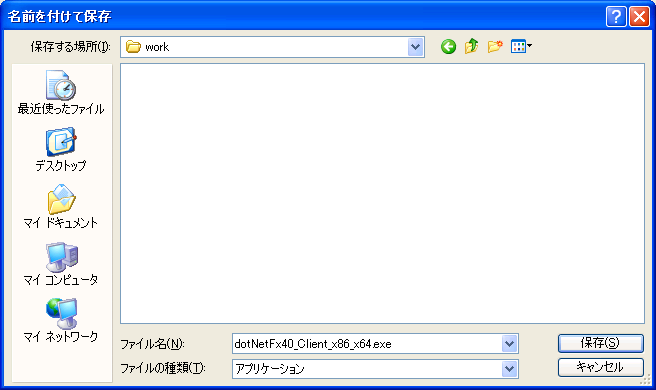


③“セキュリティの警告”画面が表示されますので、「保存(S)」をクリックし、ダウンロードを開始します。

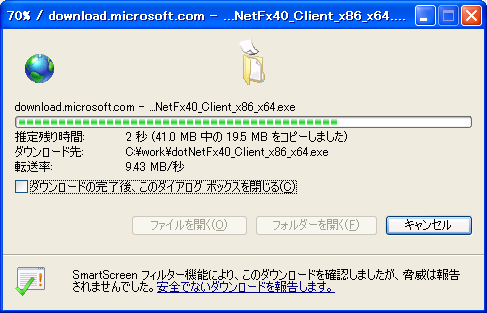


④保存先の選択画面が表示されますので、任意のフォルダを選択し、「保存(S)」をクリックしてください。

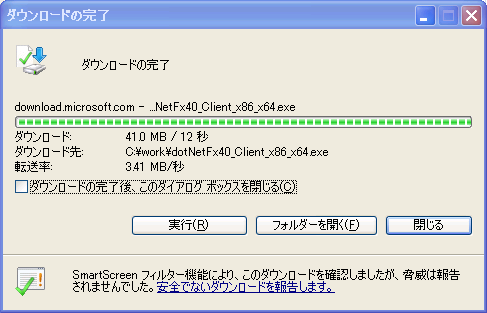
　※ダウンロードしたファイルは、インストール後削除可能です。

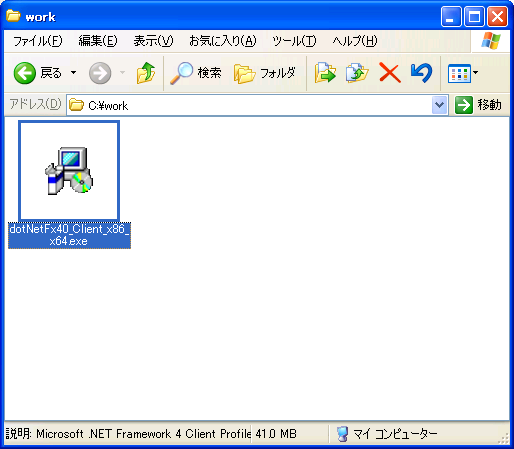


⑤保存場所を決めると、ダウンロードが開始されます。



⑤ダウンロードが完了しますと、選択したフォルダにファイルが保存されます。

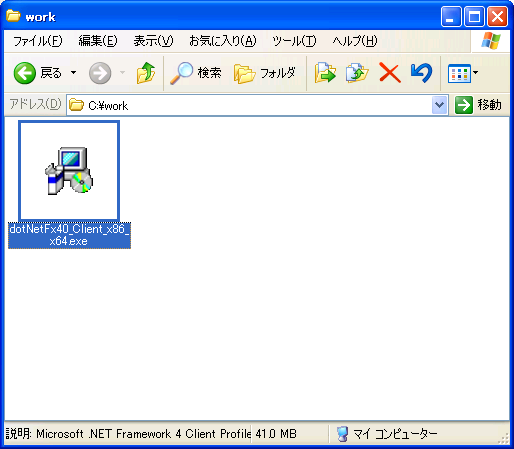




### Ⅱ）インストール

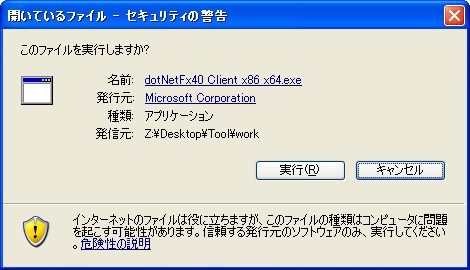
ダウンロードしたファイルのインストールを実施します。

* 1. dotNetFx40\_Client\_x86\_x64.exeを実行します。

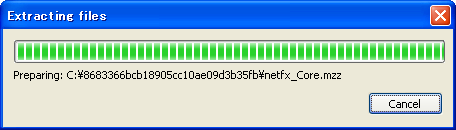


* 1. 「セキュリティの警告」画面が表示されます。

発行元など内容を確認し、よろしければ、「実行(R)」をクリックします。



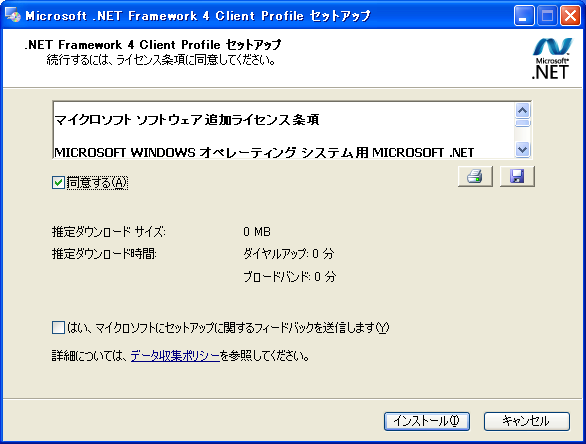
ファイルの解凍が開始します。



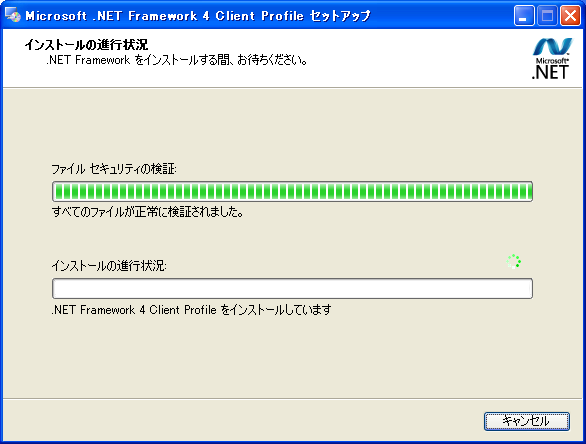
* 1. 使用許諾契約書」が表示されます。

内容を確認の上、『同意する(A)』をチェックし、

「インストール(I)」ボタンをクリックし、インストールを開始します。



インストールが開始します。

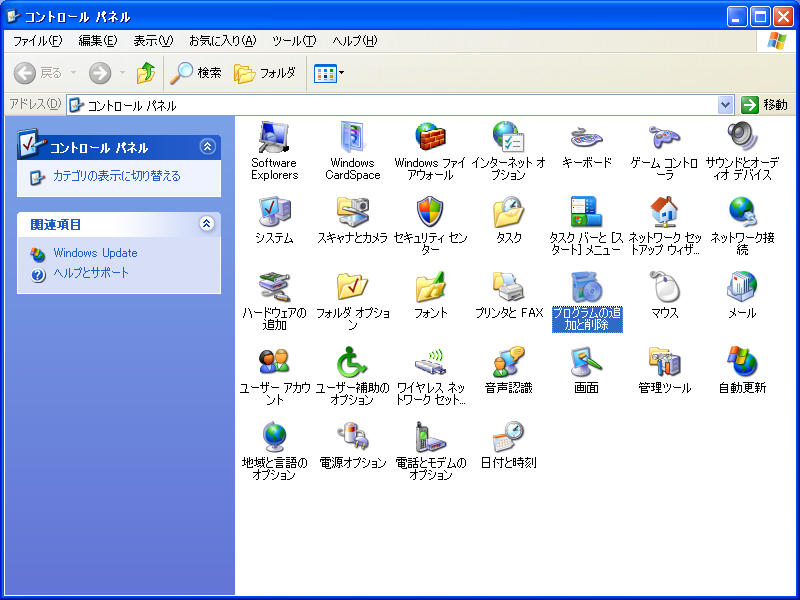


* 1. インストールが終了すると、以下画面が表示されますので、「完了」をクリックし、インストールを終了します。



### Ⅲ）インストール結果の確認

「コントロール　パネル」の「プログラムの追加と削除」を起動してください。



もしくは、「コントロール　パネル」の「プログラムと機能」を起動してください。



下記のように、「Microsoft .NET Framework 4 Client Profile」があることを確認してください。

